

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名： 大分大学教職大学院、大分県教育庁教育人事課
コラボ研修プログラム	研修等名：【NITS・教職大学院等コラボ研修】 「これからの教育行政と教職大学院の連携・協働の在り方を探る」 ～フェーズ1：教員研修の新たな局面に備え、全国の先進的取組から学ぶ～
支援事業報告書	開催日時：令和4年11月24日、12月28日、令和5年1月25日（3日間） 13:10～13:50（質疑応答時間を含む） 開催場所：大分大学教職大学院（大分市旦野原700番地）並びにオンライン、 後日オンデマンド配信 参加人数（総数）と参加者の属性：488人（対面51人、オンライン45人、オンデマンド392人） 本学教員（教職大学院）17人、指導主事等（教育行政）137人

内容： ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

第1回の猪瀬宝裕所長（茨城県教育研修センター）からは、センターと教職大学院・学部との連携・協働や、茨城県の学校や教職員を取り巻く状況の改善を目指した取組を広くご紹介いただいた。連携・協働では、センターの長期研修生と大学院の現職院生の研究交流を教職大学院とともに行っていたり、教員初任者への調査結果を大学へフィードバックすることで養成と研修をつないだり、実質的な連携・協働となっていることが印象的であった。また、センターが市町村支援（研修会等）として教職大学院の教員を派遣する制度を設けていることなども特徴的であった。（2/13 現在 167 回）

第2回の前田洋一教授（鳴門教育大学）からは、研修の高度化という国の方針を受けて、その取組を進める中で研修連携の体系化が図られたという説明をいただいた。現在は徳島県教育委員会と委託契約を結んで研修を実施していて、特に主幹教諭に対する研修を請け負っているということであった。連携における過去の実績が両者の信頼関係の基盤を形成し、インセンティブ（研修修了者には管理職試験の1次試験免除）を与えられる研修として実施できているという。研修機関としての教職大学院の役割やミッションについて、大分大学・大分県にとって貴重な問題提起をいただいた。（2/13 現在 135 回）

第3回の高瀬淳教授（岡山大学）からは、現職教職員の学びを支援する「ラーニングポイント制」について、その理念やねらい、実際の運用について説明いただいた。基本的な考え方として、専門職にある成人学習者として教職員を捉え直し、教職経験からくる固定観念を「unlearn（ときほぐす）」こと、改めて教職価値を「relearn（学び直す）」こと、を主軸としていることが分かった。研修に教職大学院が関わることの意味や意義を、岡山県の教育界全体として受け止めることに挑戦している様子が伝わってきた。教職員の研修の本質はアクションリサーチであり、現場をよりよく変革することであるという気づきへと誘ってもらえた。（2/13 現在 90 回）

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

猪瀬所長の講義については「大学との連携は教員だけでなく、学生（現職院生中心）も含めた厚い連携となっていた。」（センター指導主事）、前田先生の講義については「大分県の状況からは想像しがたいほどの連携ができて驚いた。」「研修参加がインセンティブにつながるというのも、信頼関係の現れなんだろう。」（どちらも県教委指導主事より）、高瀬先生の講義については「大学院レベルの学びというのが、高度な知識を指すのではなく、これまでの価値観を疑いそれ以上のものを教員自身が生み出すものであるということに感銘を受けた」（市教委指導主事）等の感想を直接いただいた。

アイデアや工夫したこと： ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ・教職大学院 FD 研修と県教委主催の指導主事等研修を兼ねることで受講しやすさにつながた
- ・県教委関係者は、リアルタイムのオンライン参加あるいはオンデマンド視聴を選択可能とした
- ・教育行政と大学とのふたつの目線で受講者が受け止められるよう、講師選択と内容の事前打合せに配慮した
- ・教職員支援機構にも関心を持ってもらえるよう「地域センター」の取組を取り上げた

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

第1回（11月24日）の様子

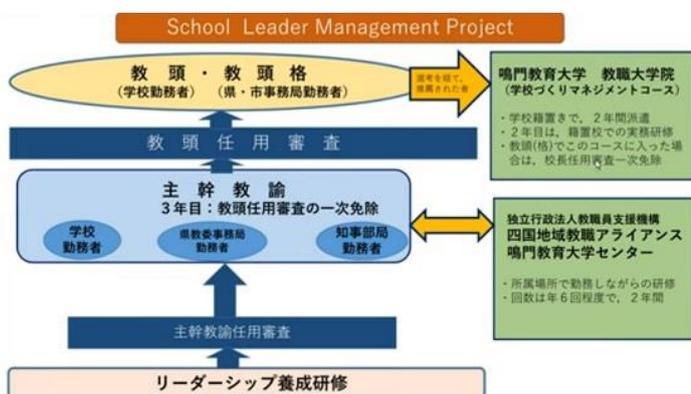


猪瀬所長の講義の様子



小学校の初任教員への質問「大学で学んでおきたかったことは何か」についての回答。大学へフィードバックされている。

第2回（12月28日）の様子



徳島県教委から委託を受けた研修

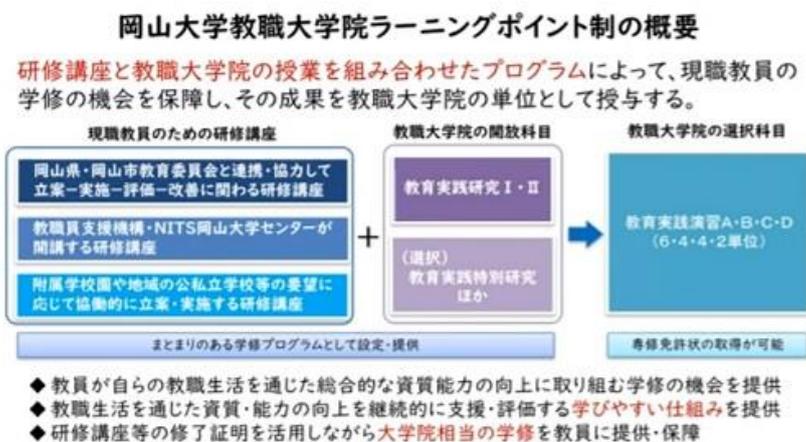


本学教員と前田先生との質疑応答の様子

第3回（1月25日）



高瀬先生の講義の様子



岡山大学ラーニングポイント制の概要